

イソヤマテンツキ

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Fimbristylis ferruginea (L.) Vahl var. *sieboldii* (Miq.) Ohwi

国カテゴリー

該当なし

選定理由

分布域が限られ、個体数も少ない。海岸植生の衰退により個体数が急減するおそれがある。(現況:R-)

形態

高さ15~40cm。花序は散形で小穂は1~数個つく。小穂の長さは10~20mmでこの仲間としては大きめである。小穂の鱗片の背面に白味がかかった微毛があり、瘦果は暗色で格子紋はない。

国内分布

本州(千葉県および石川県以西)~琉球。本県は国内の分布の北限である。

県内分布

舳倉島、外浦区(輪島市、志賀町富来地区)、中能登区(志賀町)。

生態など

磯浜の岩や砂礫の隙間に生える多年草。花期は8~10月。

生育環境

岩石海岸。

危険要因

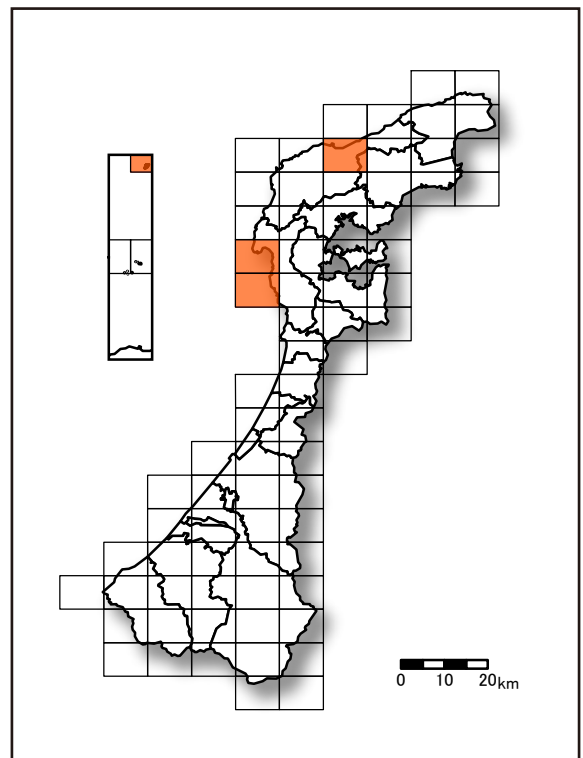
海岸開発、波浪による侵食。生育地の多くは汀線と堤防の間の狭い範囲にあり、地球温暖化による海面上昇とそれともなう高潮の発生は、個体群の激減をもたらす可能性が高い。

特記事項

一部の自生地は能登半島国立公園内にある。



白井伸和・2007年8月22日・志賀町富来地区



県内の分布